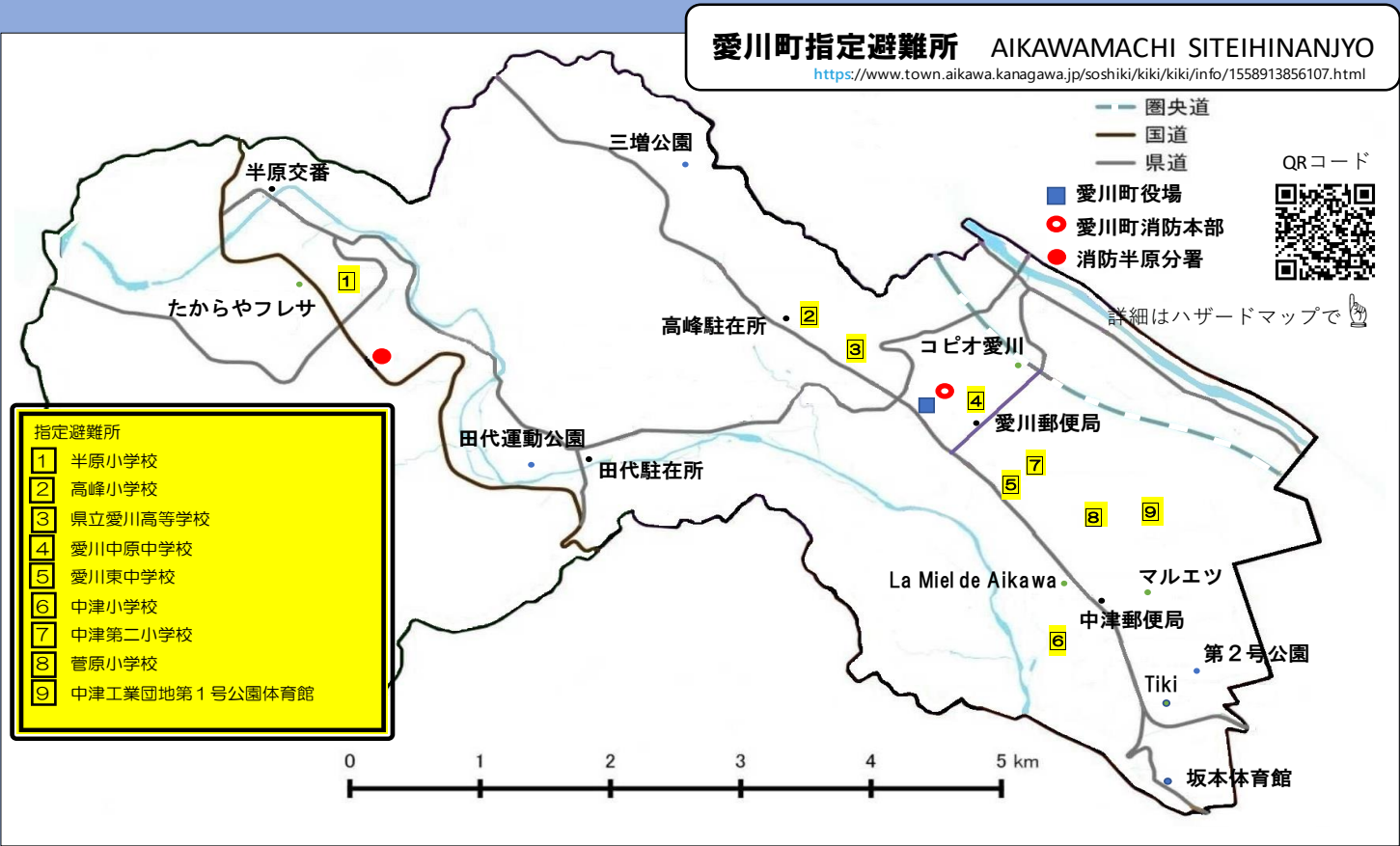




●家族構成や地域特性によって必要な防災用品は変わってきます。
最低限「3日分」、1週間分以上備えることが望ましいとされています。

●避難の時に持っていくもの ●長引く避難生活に必要なもの

非常時持ち出し品の例

【貴重品】☐現金 ☐キャッシュカード ☐印鑑
☐貯金通帳 ☐免許証 ☐権利証書 ☐健康保険証

【非常食品など】☐缶詰 ☐栄養補助食品
☐ミネラルウォーター☐水筒 ☐割り箸 ☐缶切り
☐栓抜き ☐多機能ナイフ ☐ラップフィルム
☐プラスチックや紙製の皿・コップ
☐乳幼児・高齢者・成人向けの食品

【応急医薬品】☐ばんそうこう ☐ガーゼ
☐包帯 ☐三角巾 ☐消毒薬 ☐胃腸薬 ☐鎮痛剤
☐解熱材 ☐目薬 ☐常備薬

【生活用品】☐衣類(下着・上着・靴下など)
☐タオル ☐マスク ☐ティッシュ ☐軍手
☐ウェットティッシュ ☐雨具 ☐ライター
☐ビニール袋 ☐生理用品 ☐紙おむつ
☐携帯用トイレ

【その他】☐携帯ラジオ ☐携帯電話 ☐充電器
☐懐中電灯 ☐電池 ☐眼鏡 ☐アイマスク
☐大切な思い出の品

※認定特定非営利活動法人 日本防災士機構
防災士教本 第2版第3印 抜粋

非常備蓄品の例

【非常食品】☐飲料水(1人1日3ℓ) ☐栄養補助品
☐缶詰やレトルトのご飯・おかず・アルファ米
ドライフード・インスタント食品・梅干し
☐調味料 ☐菓子類

【燃料】☐卓上コンロ ☐携帯コンロ ☐固形燃料
☐ガスボンベ

【生活用品】☐毛布 ☐寝袋 ☐洗面用具
☐ドライシャンプー ☐トイレットペーパー ☐鍋
☐やかん ☐ポリ容器 ☐バケツ

【生活用水】☐風呂などへの汲み置き、雨水タンク

【その他】☐サランラップ ☐カイロ ☐新聞紙
☐ビニールシート ☐ビニール袋 ☐ローソク ☐笛
☐ロープ ☐バール・スコップなどの用具 ☐自転車
☐ペットフード

※認定特定非営利活動法人 日本防災士機構
防災士教本 第2版第3印 抜粋

スマホのGPSはオンになっていますか？
あなたの身に何かあったときや119番通報したときに、あなたの居場所情報が取得ができることがあり、安否の確認など迅速な救命につながります。※電波状況によります。

もしもの時の不安に寄り添う
愛川町多言語機能別消防団 愛川町消防本部 ☎046-285-3131(代)

防災マニュアル

災害に備えて
今すぐチェック！今すぐ確認・行動！
家族で共有しよう！

家の中の危険箇所を知っていますか？

転倒防止をしていない
大型家具

出入口や廊下にある荷物

飛散防止処置をしていない窓ガラス

耐震性のない住まい

家具・家電・窓ガラスも、凶器になります。

家のまわりの災害危険を知っていますか？

洪水

がけ崩れ

周囲の家の倒壊

高いブロック塀

倒木

寸断しそうな道路・橋

避難所まで安全にたどり着けますか？

避難のタイミングは、大丈夫ですか？

町の防災無線や防災メール、ラジオやテレビなど、正しい気象情報を入手しましょう。

避難場所、家族との連絡手段は大丈夫ですか？

指定避難所	名前	電話番号等

指定緊急避難所

避難所の他に共有した場所を決めておきましょう。
スマホが使えなくなったとき、家族の電話番号等はわかりますか？

緊急時の持ち出し品・避難生活の備蓄品は用意していますか？

災害時は、電気、ガス、水道などが機能しなくなることが想定されます。
緊急時に持ち出す物と、避難生活に必要なものを分けて備えましょう。

【目次】

1 日頃の備え	5 いざという時の電話番号
2 地震時の行動	6 災害伝言ダイヤル「171」
3 避難時の行動	7 命を救うAED
4 普段からの対策	(裏表紙) ●避難所マップ ●持ち物チェックリスト

防災マニュアル～災害に備えて～

命や財産を守り、被害を最小限に抑えるためには、日ごろからの心構えが大切です。

1 日頃の備え「自助・共助・公助・隣近所」

(1) 自主防災組織

災害が広い範囲で発生すると、町だけでは対応できなくなります。
「自分たちの地域は自分たちで守ろう」と、各地域の自治会単位で組織されているのが
自主防災組織です。
日頃から顔の見える関係を築き、防災訓練などに積極的に参加し備えましょう。

(2) 普段の備え ～火災や地震など、災害から身を守るために～

- ・ガス台のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ・ストーブは、カーテンなど燃えやすいものから離して使う。
- ・消火用具を備え、湯船には常に水を張っておく。
- ・散乱したガラス片などによるケガを防ぐため、スリッパの用意する。
- ・寝室に懐中電灯を置く。

2 地震時の行動

①身の安全を確保



②出口の確保



③あわてて外には逃げない



④火元はすぐに消す



⑤正しい情報を入手



⑥協力しあって救出・救護



3 避難時の行動



火の元を確認！
ブレーカーを
切る！



【指定避難所】
状況に応じて指定
避難所へ避難。



家族や近所
の人たちと
一時避難。

【指定緊急避難場所】
近くの公民館、児童館、
広場、公園など緊急避難
場所へ一時避難します。

危険がなければ、
自宅避難。



4 普段からの対策

①防災訓練に参加する



②家庭防災会議を開く



③家族の安否確認方法



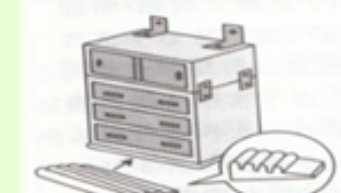
④消火用具の備え



⑤非常持ち出し品の準備



⑥家具の転倒防止

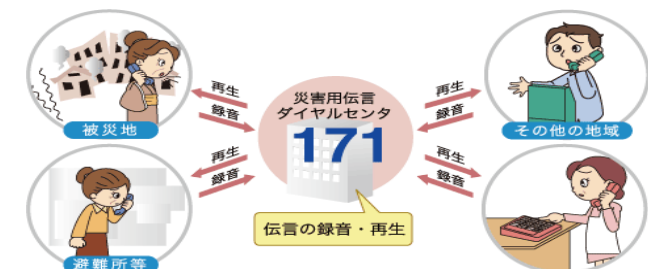


5 いざという時の電話番号

- 火事・救急は・・・119（消防署）
- 事故・・・110（警察）
- 停電・・・0120-995-007（東京電力）
- 土砂災害情報・・・045-210-6508
- 雨量水位情報・・・045-210-6491
- 防災や避難など・・・046-285-7003（危機管理室）
- 災害支援等・・・046-285-2111（愛川町役場）
- 町水道・・・046-285-6965（町水道事業所）
- 県水道・・・046-224-1111（厚木水道営業所）
※夜間休日緊急ダイヤル・・・0570-032119（ナビダイヤル）

6 災害伝言ダイヤル「171」

有事の際、家族の無事を確認するものです。
被災地の家族が171に無事であることを録音します。
別に住んでいる家族が171に問い合わせ確認が取れたり伝言が聞けます。
また、伝言を録音することができます。



伝言を録音するとき

171 - 1 - 伝えたい人の電話番号

- ①「171」をプッシュ。
- ②音声案内に従い「1」をプッシュ。
- ③自分の安否をつたえたい人の電話番号をプッシュし、音声案内に従って安否等のメッセージを録音してください。



伝言を再生するとき

171 - 2 - 連絡を取りたい人の電話番号

- ①「171」をプッシュ。
- ②音声案内に従い「2」をプッシュ。
- ③安否等連絡を取りたい人の電話番号をプッシュしてください。



7 命を救うAED

突然、意識を失った時、AEDは命を救います。

町内の一部の公共施設や企業に、**AED**が設置されています。公共施設8箇所と、中津地区の2箇所の店舗は屋外設置で、24時間いつでも使用できます。



設置場所



国内の災害情報



地震・津波の緊急情報

NHK WORLD-JAPAN



多言語に特化した
おすすめ防災アプリ。



気象情報、災害情報



気象情報、災害情報

